

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	保育学科	夜・通信	8		33	41	7	
	養護保健学科	夜・通信	5		42	47	7	
	歯科衛生学科	夜・通信	6		43	49	10	
	医療秘書学科	夜・通信	10		44	54	7	
(備考) 全学共通科目においては学科により科目担当者が異なる場合があることから実務経験者のカウントにおいて差異あり。 ※専門科目においては教職免許に関する科目を含む(養護保健学科 14 単位)。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL： <a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/tanjyugyoukamokuichiran.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/tanjyugyoukamokuichiran.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開          URL : <a href="https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r03yakuinmeibo.pdf">https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r03yakuinmeibo.pdf</a></p>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士事務所 税理士	2017.7.6 ~ 2022.7.5	経営機能強化に資 する多様な提言
非常勤	法律事務所 弁護士	2019.4.1 ~ 2024.3.31	経営機能強化に資 する多様な提言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成に関しては、例年、10月以降の教務委員会にて記載内容の検討を開始し、翌年1月各授業担当者に作成依頼を行い、2月上旬に各授業担当者から提出されている。</p> <p>具体的な内容は、①目的 ②概要 ③達成目標 ④授業計画 ⑤授業形態 ⑥教科書 ⑦参考書 ⑧評価方法 ⑨留意点 ⑩準備学習・関連学習について等で構成されている。</p> <p>記載内容を徹底するため、「シラバス作成・活用ガイド」を作成し担当教員あてに通知するとともに、学科ごとに研修会を実施している。また、シラバス完成までに教務委員による複数回(2月、3月)のチェックを経て3月上旬に公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/index.html 上記URL内「年間授業計画(シラバス)」参照</p> <p>公表方法：ユニバーサル・パスポート(学生ポータルサイト)にて公開 URL：https://unipa.fuksi-kagk-u.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価を行うにあたっては、筆記試験、口述試験、実技試験、レポート、その他の提出物など多様な方法を用いており、学則、規程で定めている。</p> <p>また、シラバスにおいて、成績評価の方法と基準を示し、これらに基づき客観的に厳格かつ適正な学修成果を判定し評価を行っている。</p> <p>成績の評価、単位の授与については、学則に定め、授業科目を履修し、試験に合格した者には単位を与えている。</p> <p>また、「夢ノート」というツールを使い、学生の履修指導、成績管理、生活指導を行っている。加えて個々人の遅刻、欠席状況をチェックすることで、学修意欲の把握に努め、3回欠席した場合は、保護者との情報共有をはかり、きめ細かい指導を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAの算出方法等に関しては、試験内規において定めている。

具体的には、GP (Grade Point) を用いて、履修科目のGPA (Grade Point Average) を算出し、総合成績評価を行う。成績評価におけるGP (Grade Point) は以下のとおりである。

評価	点数	GP
秀	100-90	4
優	89-80	3
良	79-70	2
可	69-60	1
不可	59-0	0

$GPA = (\text{評価を受けた各授業科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和} / \text{評価を受けた授業科目の総単位数}$

なお、GPAは小数第二位まで表示する。小数第二位未満の端数があるときは、小数第三位の値を四捨五入する。

各人のGPAについては成績通知と同時に通知している。また、全科目GP平均値や分布状況、履修者規模別GP平均値などの分析結果を示し、成績評価の平準化について活用するようにしている。

また、GPAが1.0未満の者には指導を行い、改善が見られない場合には退学勧告等を行うことがある。

客観的な指標の算出方法の公表方法	公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL : <a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/seisekihyoukaki_jun.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/seisekihyoukaki_jun.html</a>
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、全学のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) を定め、各学科の教育目標を達成することにより、以下の能力を身につけることを目指している。1. 自己成長を促し、自分の考えに基づき主体的に行動できる。2. 自らが生きる上で必要な問題解決能力を持っている。3. 自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を保有している。4. 自らが目指す専門職の基本を理解し、その向上に意欲を示している。5. 自らが目指す専門職の知識・技能を活かし、社会に貢献することができる。

これらをもとに、学科ごとにより具体的なディプロマ・ポリシー及び学習成果を定めている。

また、各学科のカリキュラム及び卒業に必要な最低単位数は、学則に定めている。各学科の教育課程が定める授業科目を履修し、基準となる単位を取得した者には、教授会での審議を経て、学長が認定し、学位を授与している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL : <a href="https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/diploma.html">https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/diploma.html</a> URL : <a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/sotugyouinteiki_jun.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/sotugyouinteiki_jun.html</a>
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL: <a href="https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_04.pdf">https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_04.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL: <a href="https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_03.pdf">https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_03.pdf</a>
財産目録	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL: <a href="https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_05.pdf">https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_05.pdf</a>
事業報告書	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL: <a href="https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02report.pdf">https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02report.pdf</a>
監事による監査報告(書)	学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL: <a href="https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_06.pdf">https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r02results/r02_06.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書)	対象年度: 2021年度)
公表方法: 学校法人玉手山学園 公式ホームページ内にて公開 URL: <a href="https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r03kekaku.pdf">https://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/report/pdf/r03kekaku.pdf</a>	
中長期計画(名称: 第3期(2018~2022)学園中長期計画)	対象年度: 2018~2022年度)
公表方法:	

### 3. 教育活動に係る情報

#### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  
URL：[https://www.kwc.ac.jp/profile/public\\_info/index.html](https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/index.html)  
上記 URL 内「その他」「大学評価」参照

#### (2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  
URL：[https://www.kwc.ac.jp/profile/evaluation\\_R1.html](https://www.kwc.ac.jp/profile/evaluation_R1.html)

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育学科
<p>教育研究上の目的                  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開                  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/childcare/outline.html)</p>
<p>(概要)                  保育学科では建学の精神「感恩」を教育の原点として、子どもを愛する心、思いやりの心、感性豊かな心を育むとともに、保育の基本的な知識と技能を身につけた、子どもとその保護者を支援できる幼稚園教諭及び保育士の養成を目的としています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針                  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開                  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/diploma.html)</p>
<p>(概要)                  保育学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格を取得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児教育及び保育の現場で求められる資質・能力を理解し、学び続ける意欲を持っている。</li> <li>2. 幼児教育及び保育の現場で直面する様々な問題を解決する方法を理解している。</li> <li>3. 幼児教育及び保育の現場で求められるコミュニケーション能力を持ち、他者と連携・協働できる。</li> <li>4. 幼児教育及び保育の現場で求められる基本的な知識と技能を身につけている。</li> <li>5. 幼児教育及び保育の現場で必要とされる態度と実践力を身につけ、社会に貢献することができる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針                  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開                  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/curriculum.html)</p>
<p>(概要)                  保育学科では、ディプロマ・ポリシーで明記している幼稚園教諭及び保育士として必要な能力を修得するために、教育課程（カリキュラム）を編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針                  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開                  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/admission.html)</p>
<p>(概要)                  保育学科の教育目標を達成するにあたり、以下のような能力等を身につけておくことが望まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育に関する専門的な知識と技能を学ぶ意欲と、そのための基礎学力</li> <li>2. 子どもを愛し、子どもの「育ち」を見守り、支えようとする意欲</li> <li>3. 人としてのモラル、感謝の心と向上心</li> <li>4. 幼稚園教諭及び保育士になりたいという強い意志</li> <li>5. 多様な人々とコミュニケーションをとろうとする意欲</li> </ol>

学部等名 養護保健学科
<p>教育研究上の目的  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/health/outline.html) )</p>
<p>(概要)  養護保健学科では、建学の精神「感恩」に則り、豊かな人間性と高い倫理観を養い、子どもの心身の健康を守り育てる基本的な専門知識と技能、並びにそれらに裏打ちされた表現力と判断力を身につけた、実践力のある養護教諭の養成を目的としています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/diploma.html)</p>
<p>(概要)  養護保健学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、養護教諭二種免許状及び中学校教諭二種免許状（保健）を取得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人としての使命感を持ち、意欲的・主体的に行動できる。</li> <li>2. 専門的な知識や技能を修得するとともに、社会で直面する様々な問題を解決する方法を理解している。</li> <li>3. 優れたコミュニケーション力を修得し、学校・家庭・地域などとの連携・協働を行うことができる。</li> <li>4. 養護や教育に関する基本的な知識や技能、並びにそれに裏打ちされた表現力と判断力を身につけるとともに、養護教諭の職務を明確に理解している。</li> <li>5. 専門的な知識や技能、情報を活用し、社会に貢献することができる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/curriculum.html)</p>
<p>(概要)  養護保健学科では、ディプロマ・ポリシーで明記している学校教員として必要な能力を修得するために、教育課程（カリキュラム）を編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/admission.html)</p>
<p>(概要)  養護保健学科の教育目標を達成するにあたり、以下のような能力等を身につけておくことが望まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感謝の気持ちを持ち、主体的に多様な人々と協働する力</li> <li>2. 児童・生徒の模範となる規範意識と、自己管理能力</li> <li>3. 高等学校など卒業時まで修得すべき基礎学力と、学ぼうとする意欲</li> <li>4. 養護教諭になるという強い意志と、そのための努力を惜しまないという覚悟</li> <li>5. 思考力・判断力・表現力と豊かなコミュニケーション力</li> </ol>



学部等名 歯科衛生学科
<p>教育研究上の目的  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/dental/outline.html)</p>
<p>(概要)  歯科衛生学科では、建学の精神「感恩」に則り、思いやりと豊かな人間性を身につけ、口腔保健の推進に必要とする基本的な専門知識と技能を修得した歯科衛生士の育成に努めています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/diploma.html)</p>
<p>(概要)  歯科衛生学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、歯科衛生士国家試験受験資格を取得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科衛生士に必要な最新の知識と技能を修得する意欲を常に持ち、主体的に行動できる。</li> <li>2. 歯科衛生士として直面する問題を解決する方法を理解している。</li> <li>3. 優れたコミュニケーション能力を修得している。</li> <li>4. 歯科衛生士として必要な知識と技能を修得し、歯科医療の場で協働、連携することができる。</li> <li>5. 歯科衛生士として豊かな人間性と専門性を身につけ、社会に貢献することができる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/curriculum.html)</p>
<p>(概要)  歯科衛生学科では、ディプロマ・ポリシーで明記している歯科衛生士として必要な能力を修得するために、教育課程（カリキュラム）を編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/admission.html)</p>
<p>(概要)  歯科衛生学科の教育目標を達成するにあたり、以下のような能力等を身につけておくことが望まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科衛生士として必要な知識と技能を習得するために必要な基礎学力と学ぶ意欲</li> <li>2. 歯科衛生士になりたいという強い意志</li> <li>3. 明るく、人と話すことを厭わない積極性</li> <li>4. 人を思いやる心と倫理観</li> </ol>

学部等名 医療秘書学科
<p>教育研究上の目的  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/medical/outline.html)</p>
<p>(概要)  医療秘書学科では、建学の精神「感恩」に則り、思いやりの心と豊かな人間性を築き、医学知識と一般教養を身につけ、患者さんの立場に立った考えや行動ができる優秀な医療秘書の育成を目的としています。</p>
<p>卒業の認定に関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/diploma.html)</p>
<p>(概要)  医療秘書学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、短期大学士の学位が与えられるとともに、医療秘書士・秘書士の資格を取得できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療秘書・秘書という専門職を目指すことで自分の考えに基づく主体的行動ができる。</li> <li>2. 医療秘書・秘書という専門職を目指すことで、生きる上で必要な問題解決能力を持っている。</li> <li>3. 医療秘書・秘書として、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を持っている。</li> <li>4. 医療秘書・秘書に関する基本的知識や技能を身につけ、その向上に努める意欲を持っている。</li> <li>5. 医療秘書・秘書という専門職を通して社会に貢献できる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/curriculum.html)</p>
<p>(概要)  医療秘書学科では、ディプロマ・ポリシーで明記している医療秘書・秘書として必要な能力を修得するために、教育課程（カリキュラム）を編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開  URL：https://www.kwc.ac.jp/faculty/policy/admission.html)</p>
<p>(概要)  医療秘書学科の教育目標を達成するにあたり、以下のような能力等を身につけておくことが望まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校など卒業時までには修得すべき知識・思考力・判断力・表現力</li> <li>2. 医療秘書・秘書という専門職を目指す意欲と向上心</li> <li>3. 多職種協働が求められる医療現場で必要なコミュニケーション能力を培おうとする意欲と向上心</li> </ol>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL：https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/index.html 上記 URL 内「教育研究上の基礎組織」「組織図」参照
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
保育学科	—	3人	7人	1人	0人	0人	11人
養護保健学科	—	3人	3人	0人	0人	0人	6人
歯科衛生学科	—	8人	2人	2人	0人	3人	15人
医療秘書学科	—	2人	2人	2人	0人	0人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		69人					69人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：関西女子短期大学 公式 WEB サイト内 各学科ページ 教員紹介内に公開（URL 参照） 保育学科： <a href="https://www.kwc.ac.jp/faculty/childcare/teacher.html">https://www.kwc.ac.jp/faculty/childcare/teacher.html</a> 養護保健： <a href="https://www.kwc.ac.jp/faculty/health/teacher.html">https://www.kwc.ac.jp/faculty/health/teacher.html</a> 歯科衛生： <a href="https://www.kwc.ac.jp/faculty/dental/teacher.html">https://www.kwc.ac.jp/faculty/dental/teacher.html</a> 医療秘書： <a href="https://www.kwc.ac.jp/faculty/medical/teacher.html">https://www.kwc.ac.jp/faculty/medical/teacher.html</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学では FD 委員会を設置し、IR・FD・アドミッション推進室と連携しながら、学内での FD 活動推進の中心的役割を果たしている。具体的な活動として、年 2 回の授業アンケートの実施及び結果の有効活用、公開授業・授業研究会実施、自己点検シートの作成等による授業技術向上のための取り組み、シラバス研究等の各種教員研修会の開催等が挙げられる。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	120人	81人	67.5%	240人	141人	58.8%	—人	—人
養護保健学科	40人	28人	70.0%	80人	61人	76.3%	—人	—人
歯科衛生学科	100人	81人	81.0%	300人	278人	92.7%	—人	—人
医療秘書学科	40人	23人	57.5%	80人	54人	67.5%	—人	—人
合計	300人	213人	71.0%	700人	534人	76.3%	—人	—人
(備考) 再入学者 1 名(養護保健学科)は入学者数に含めない。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	90人 (100%)	0人 (0.0%)	81人 (90.0%)	9人 (10.0%)
養護保健学科	42人 (100%)	0人 (0.0%)	35人 (83.3%)	7人 (16.7%)
歯科衛生学科	99人 (100%)	0人 (0.0%)	89人 (89.9%)	10人 (10.1%)
医療秘書学科	25人 (100%)	0人 (0.0%)	23人 (92.0%)	2人 (8.0%)
合計	256人 (100%)	0人 (0.0%)	228人 (89.1%)	28人 (10.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) (主な就職先) (福)みおつくし福祉会、(福)あけぼの会、(学)志紀学園、(株)ニチイ学館、各都道府県市教育委員会、 (医)徳洲会、(医)春秋会、(医)藤井会、(株)サエラ、(医)真摯会、(医)わはは会、(医)ゆめはんな会 (備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
保育学科	94人 (100%)	89人 (94.7%)	0人 (0%)	5人 (5.3%)	0人 (0.0%)
養護保健学科	44人 (100%)	42人 (95.5%)	0人 (0%)	2人 (4.5%)	0人 (0.0%)
歯科衛生学科	108人 (100%)	99人 (91.7%)	3人 (2.8%)	5人 (4.6%)	0人 (0.0%)
医療秘書学科	27人 (100%)	25人 (92.6%)	0人 (0%)	2人 (7.4%)	0人 (0.0%)
合計	273人 (100%)	255人 (93.4%)	3人 (1.1%)	14人 (5.1%)	0人 (0.0%)
(備考) 保育/養護/医療秘書学科は2019年度入学生、歯科衛生学科は2018年度入学生。 歯科衛生学科は入学後に他学科への転学部生1名が減ずる。					

### ⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <p>シラバスの作成に関しては、毎年、10月以降の教務委員会にて記載内容の検討を開始し、翌年1月各授業担当者に作成依頼を行い、2月上旬に提出を求めている。</p> <p>具体的な内容は、①目的 ②概要 ③達成目標 ④授業計画 ⑤授業形態 ⑥教科書 ⑦参考書 ⑧評価方法 ⑨留意点 ⑩準備学習・関連学習について等で構成されている。</p> <p>記載内容を徹底するため、「シラバス作成・活用ガイド」を作成し担当教員あてに通知するとともに、学科ごとに研修会を実施している。また、シラバス完成までに教務委員による複数回(2月、3月)のチェックを経て3月上旬に公開している。</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価を行うにあたっては、筆記試験、口述試験、実技試験、レポート、その他の提出物など多様な方法を用いており、学則、規程で定めている。</p> <p>また、シラバスにおいて、成績評価の方法と基準を示し、これらに基づき客観的に厳正かつ適正な学修成果を判定し評価を行っている。</p> <p>成績の評価、単位の授与については、学則に定め、授業科目を履修し、試験に合格したのものには単位を与えている。</p> <p>また、「夢ノート」というツールを使い、学生の履修指導、成績管理、生活指導を行っている。加えて個々人の遅刻、欠席状況をチェックすることで、学修意欲の把握に努め、3回欠席した場合は、保護者との情報共有をはかり、きめ細かい指導を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	62 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	30 単位 (1 年次のみ 25 単位)
	養護保健学科	62 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	30 単位 (1 年次のみ 25 単位)
	歯科衛生学科	96 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	30 単位 (1 年次のみ 25 単位)
	医療秘書学科	62 単位	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	30 単位 (1 年次のみ 25 単位)
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL： <a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/psg7n7000000qrj-att/gakusyu_jikan.pdf">https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/psg7n7000000qrj-att/gakusyu_jikan.pdf</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャンパスガイド URL：<a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/campusmap.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/campusmap.html</a></li> <li>・ 図書館 URL：<a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/library/librarytop.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/library/librarytop.html</a></li> <li>・ その他の学習施設 URL：<a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/jouhousyori.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/jouhousyori.html</a></li> <li>・ 障がい者支援 URL：<a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/syougaisya.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/public_info/syougaisya.html</a></li> </ul>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	保育学科	830,000 円	300,000 円	251,800 円	・教育充実費(200,000 円) ・履修費(51,800 円)
	養護保健学科	830,000 円	300,000 円	259,200 円	・教育充実費(200,000 円) ・履修費(59,200 円)
	歯科衛生学科	830,000 円	300,000 円	295,800 円	・教育充実費(250,000 円) ・履修費(45,800 円)
	医療秘書学科	830,000 円	300,000 円	229,400 円	・教育充実費(200,000 円) ・履修費(29,400 円)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>入学式後、2日間のオリエンテーションを実施し、学生の新たな修学環境への適応を支援している。また、履修指導においては、学科ごとにオリエンテーションを実施し、各自の時間割を指導教員に提出させるようにしている。特に、1年生については、履修以外にも講義の受け方、試験、成績評価、単位認定等、今後の修学に係るきめ細かい指導を行う。</li> <li>学生が入学時の目標を持ち続け、学びの記録を残すため全学生を対象とした「夢ノート」という制度を設けている。教員は記述内容や出席状況から学生の現状を把握し、特に注意を要する学生の対応など有効に活用している。また、授業以外に相談できるオフィスアワーを設定するとともに、いつでも学生の要望に応じて個別指導を行っている。</li> <li>情報関連による支援では、学内 LAN 上のファイルサーバに個人用のフォルダを所有できるようにし、いつでも学内コンピュータから個人フォルダにアクセスできる環境を整備し修学を支援している。</li> </ul>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>学科特性に合わせた専門性を活かす進路支援(学科別就職ガイダンス)</li> <li>就職活動のスキル向上に関する支援(就活サポートプログラム)</li> <li>就職情報収集及び情報活用支援(求人検索 NAVI システム)</li> </ul>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>学生相談室の設置(平日 10:00~17:00)</li> <li>保健室の設置(平日 8:50~17:00)</li> <li>学生支援センター/学生相談室/保健室相互間での情報共有等の連携</li> </ul>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：関西女子短期大学 公式ホームページ内にて公開 URL : <a href="https://www.kwc.ac.jp/profile/kanjyooop.html">https://www.kwc.ac.jp/profile/kanjyooop.html</a> URL : <a href="https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/chiikirenkei/regional_program.html">https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/chiikirenkei/regional_program.html</a>
---

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	関西女子短期大学
設置者名	学校法人 玉手山学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		99人	88人	195人
内 訳	第Ⅰ区分	65人	59人	
	第Ⅱ区分	21人	29人	
	第Ⅲ区分	13人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				195人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人



(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-人	13人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	-人	13人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。